

令和4年度四国高等学校卓球選手権大会にあたっての安全対策ガイドライン

1 大会を開催するにあたって

大会の開催に際しては、選手を中心とした関係者全員の安全を最優先し、実施の可否等について慎重に判断し、実施する場合には十分な感染症対策を行う。ただし、全国や県内の感染状況に応じて、大会中止を決定する場合がある。

- (1) 顧問は必ず、選手および保護者から大会参加の承諾を取り、校長の責任のもとに申し込みを行う。
- (2) 参加校の競技登録生徒及び帯同審判員・帯同部員と監督・アドバイザー、補助員生徒と引率者（以下「大会参加者」という）は、健康状況チェックシート（様式1）に大会14日間前から大会参加終了日まで毎日記入し、引率責任者に提出する。引率責任者は、記載内容と、参加者の様子を確認した上で、健康チェックシート提出用紙（様式2）を毎日提出する。万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、健康状況チェックシート（様式1）の原本については、各校引率責任者が1ヶ月以上保存する。
- (3) 大会関係役員は、健康状況チェックシート（様式1）に大会14日間前から大会終了まで健康状態を記入し、それを各自で保管の上、健康チェック提出用紙（様式2）を毎日会場受付で提示し、入館審査を受ける。チェックシートは、1ヶ月以上各自保存しておき、該当項目がある場合には大会本部に申し出た上で当日の参加について判断する。
- (4) 競技委員長は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会参加者から提出された健康チェックシート提出用紙（様式2）の原本について、1ヶ月以上保存しておく。
- (5) 参加者に陽性者が確認された場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- (6) 観戦する保護者は健康チェックシート（様式1）に大会14日間前から大会参加終了日までを毎日記入し、それを各自で保管の上、観戦保護者連絡先提出用紙（様式3）を学校ごとに毎日会場受付に提出すること。健康チェックシート（様式1）は、各自で1ヶ月以上保存しておくこと。
- (7) 取材を希望する団体は、高体連主催大会参加体温・体調チェック記録表<取材団体等>（様式4）に大会14日間前から大会参加終了日まで記入し、大会当日は受付へ提示し、参加者名簿へ必要事項を記入したのち入場すること。

2 大会中の具体的な感染症対策

- (1) 会場への入場は選手、監督・アドバイザー、引率者、帯同審判員、帯同部員（団体戦出場校は1チーム3名まで可）、認められた練習パートナー、事前に申請のあった保護者（3年生の出場選手の保護者1名）、役員、補助員のみとする。出場校は入館予定者の名簿を作成し、各県専門委員長へメールで送信すること。各県専門委員長は、出場校から送られた名簿及び人数をまとめたデータを愛媛県専門委員長へ送信すること。
- (2) 会場への入場は学校毎とする。監督・コーチは常に役職者証を、選手はゼッケンを携帯すること。
- (3) 競技会場において、手洗いや咳エチケット（マスクの着用）などの基本的な感染症対策を徹底する。
- (4) 会場出入口には消毒液を設置し、トイレには石鹼を準備する。
- (5) 参加者の手が触れる場所を定期的にアルコール消毒する。
- (6) 観覧席は密を避けるため、間隔を空けて着席させるとともに、応援は拍手のみとする。
- (7) 会場の自動換気装置等を用い、十分な換気を行う。
- (8) 更衣室の利用については短時間・少人数で利用するよう指導する。
- (9) 開会式は簡略化して行う。閉会式は行わない。

3 試合中の具体的な感染症対策

- (1) ベンチにアルコール消毒液を準備し、選手及び審判は試合前後に手指消毒する。ベンチの消毒は使用者が行う。
- (2) 選手同士および選手と審判の握手は行わない。
- (3) 選手はビニール袋を用意し、袋内にタオルを入れてタオルカゴに入れるようにする。チェンジエンドの際は、選手が袋ごとタオルをもって移動するようにし、タオルが直接カゴ内に触れないようにする。
- (4) 日本卓球協会制定のガイドラインに沿った特別ルールを適用することがある。

4 参加者の感染防止策について

- (1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせていただく。
 - ① 体調がよくない場合。(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ② 同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合。
 - ③ 過去14日間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- (2) マスクを持参し、試合を行っていない時や会話をする際にはマスクを着用する。
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- (4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保する。
- (5) 無観客試合とし、事前申請していない者は入場できないこととする。
- (6) 会場で大きな声で会話、応援等をしないこと。
- (7) 感染防止のために主催者が決めた措置を遵守する。
- (8) 大会終了後14日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。
- (9) 観戦する際は必ず着席し、声を出さない。なお、会場から出るときは、自身が使用した座席を消毒する。
- (10) ごみについては、各学校で必ず持ち帰りの徹底をする。
- (11) 昼食を摂る際も周囲との距離を取り、会話を控える。また向かい合って摂食しない。

5 監督、引率責任者の留意事項

- (1) 学校長に認められた引率責任者の引率がないと試合に参加できない。
- (2) 引率責任者は参加生徒全員に「健康状況チェックシート」(様式1)を提出させ、確認をしたうえで、「健康チェックシート提出用紙」(様式2)に記入をし、会場受付に提出する。その際、学校ごとにまとめて入場する。
- (3) 入場待機しているときにも、人と人の間隔を取らせ、密にならないように注意する。

6 選手の留意事項

- (1) ベンチにいる選手は常時マスクを着用する。
- (2) ベンチから試合中の応援は拍手のみとする。
- (3) 試合前のラケット交換は、相手に渡さず、自分で相手に見せる。
- (4) 試合中、大きな声を出さない。
- (5) 卓球台の上で手を拭いたり、シューズの裏を手で拭いたりしない。
- (6) 握手等の身体を接触させる挨拶は行わない。
- (7) 試合のないときは、観客席等で人との距離を保ち、声を出しての応援はしない。
- (8) タオルの共用はしない。こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行う。
- (9) 飲料は自分専用のもので飲み、回し飲みはしない。
- (10) 審判を行う際は、マスクを着用する。
- (11) 試合終了後は、使用したイスを消毒し、きれいに整頓してアリーナから出る。

7 宿泊について

- (1) 宿泊施設関連の業界団体が定める最新の「宿泊施設における新型コロナウイルス対応

- ガイドライン」に従う。
- (2) 大会参加者の宿泊先を大会本部で把握する。

8 移動について

- (1) 感染リスクの軽減を考え、密を避ける移動計画を立てる。
- (2) マスクを着用するとともに、会話をできる限り慎む。
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- (4) 移動の際には、事前に食事を準備し、サービスエリアを含めた外食を出来るだけ避ける。
- (5) 特急電車等を利用した際には、乗車車両や座席番号を記録する。